

平成27年度

鹿沼市環境クリーンセンター ごみ焼却処理施設
ばい煙等測定結果

測定年月日	単 位	ばいじん	窒素酸化物	硫黄酸化物		塩化水素	ダイオキシン類	燃焼ガス温度	集じん器入口 排ガス温度	排ガス中の 一酸化炭素濃度
		g/m ³ N	ppm	ppm	K値	mg/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	°C	°C	ppm
		基準値	0.15	250	-	8.0	700	5	800以上	200以下
平成27年5月15日	1号炉	-	99	33	0.21	108	-	-	-	-
平成27年7月16日	1号炉	-	99	33	0.21	38	-	-	-	-
平成27年12月25日	2号炉	0.06	98	9	0.04	85	-	-	-	-
平成28年3月10日	1号炉	0.04	75	9	0	59	-	-	-	-

2号炉は老朽化に伴い平成22年2月より運転を停止しています。
3号炉は基間的設備改良工事に伴い平成27年4月より運転を停止しています。

単位について

m³N

Nは「ノルマル」と呼び、0°C、1気圧の標準状態を表す。
1 m³Nとは、標準状態(0°C、1気圧)に換算した、1 m³のガス量を表す。

ppm(ピーピーエム)

「ピーピーエム(ppm)」は試料中の物質の量を100万分の1で表わす単位。

K値

硫黄酸化物は、排出口(煙突)の高さに応じて許容排出量を定める方式で規制され、基準値はKで表される。
K値は、政令で定める地域ごとに環境省令で定められ、K値が小さいほど厳しい基準となる。
鹿沼市のK値は8.0に定められている。

ng(ナノグラム)

「ナノグラム(ng)」は10億分の1グラムを表す重さの単位。

TEQ(毒性等量)

ダイオキシン類は種類によって毒性の強さが異なり、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するために、最も毒性が強いとされている「2,3,7,8-四塩化ジベンゾジオキシン(TCDD)」の毒性を1として、この毒性に比較して定められた種類ごとの係数を乗じて合計したものをいう。